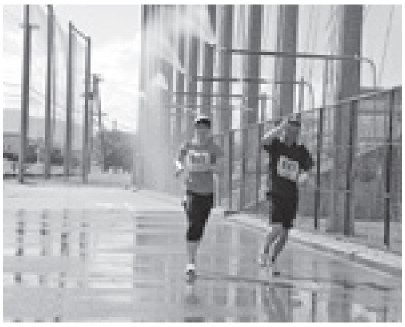
第15回 かみはやし穀菜マラソン大会 参加者募集

と　　き　9月1日㈰　午前8時受け付け開始
スタート・ゴール　パルパーク神林（神林総合運動公園）
参加資格　小学生以上の健康な人ならどなたでも参加できます。（保険証を必ず持参してください。コピー可）
参 加 費　小・中学生、高校生　1,000円　　一般　2,500円
申込期限　7月26日㈮　※当日消印有効
申込方法
・所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加費を添えて申し込んでください。
・郵送で申し込む場合は、申込用紙と一緒に参加料を現金書留または郵便定額小為替で送金してください。
※申込用紙は、神林農村環境改善センター・各地区体育館にあります。また、市ホームページ（トップページのイベント・行事予定）からダウンロードできます
※未成年者の場合は保護者の同意が必要です



昨年の大会（第14回）の様子

種　　目

種　目	部　門	
2km	1	小学校1～6年生男子（1～3年生、4～6年生別）
	2	小学校1～6年生女子（1～3年生、4～6年生別）
3km	3	中学生男子
	4	中学生・高校生・一般女子
5km	5	一般男子（高校生含む）
	6	一般女子（高校生含む）
10km	7	一般男子（高校生含む）
	8	一般女子（高校生含む）

●問い合わせ・申し込み先　かみはやし穀菜マラソン事務局（神林農村環境改善センター内）　☎60－1500

生誕300年　青砥武平治伝①
世界に先駆ける武平治の功績

江戸時代に鮭の回帰性に気付き、世界で初めて鮭の増殖に成功した村上藩士青砥武平治が誕生した年から今年でちょうど300年。市ではそれを記念したイベントを計画しています。

そこで、今回から5回シリーズで青砥武平治とその功績をお伝えしていきます。

鮭公園にある武平治像

江戸時代の中期、村上藩に青砥武平治（1713年～1788年）という藩士がいました。武平治は三面川の鮭の自然保護増殖に成功した人です。彼の偉業はその後の村上の鮭文化の礎となります。

その頃の村上藩では、乱獲などが原因で鮭の漁獲量が減っていたそうです。そういう状況の中で武平治は『鮭が生まれた川に帰ってくる』という習性に気付き、多くの鮭が帰ってきて漁獲量が増えるのではないかと考えました。武平治は、三面川に分流「種川」を築き、種川に遡上した鮭を柵で囲んで産卵させ、鮭の増殖に成功しました。この鮭を増殖させるシステムを「種川の制」といいます。

種川の制が完成したのは、武平治の死後、1794年（寛政6年）とされており、これは世界で初めて鮭のふ化事業が行われる140年も前のことです。

村上藩にとって鮭漁で得られる運上金は貴重な収入源でした。1796年（寛政8年）には運上金が千両を超え、不漁により底をつきかけた藩の財政が好転しました。また、1884年（明治17年）には、年間約74万本の鮭が捕獲されたとの記録もあります。これらは、武平治の功績であるといえます。

■出典
「遥かなる村上藩」（山本　茂／著）
「村上市歴史散歩」（鈴木鉀三／著）　ほか

●問い合わせ
青砥武平治生誕300年祭実行委員会事務局（農林水産課水産振興係内）
☎53-2111（内線341）